

第 38 回日本ロボット学会学術講演会用原稿の書き方

○信州太郎（日本ロボット学会） 東北花子（（株）RSJ）

1. 講演論文原稿作成方法について

(1) 講演会ウェブサイトについて

講演論文原稿（PDF形式のみ）の投稿はインターネット経由で行います。詳細については、第37回日本ロボット学会学術講演会のウェブサイト[2]をご参照ください。

(2) Microsoft Word 2000以降の場合

ウェブサイト[2]からsample2020j.docをダウンロードして講演論文原稿を作成してください。MS WordやOSのバージョンによってはレイアウトが崩れる場合があります。

そういった場合は、適宜sample2020j.pdfの書式に合うように講演論文原稿を作成してください。

(3) TeXの場合

platex2eをお使いの方は、sample2020.zip をダウンロードし、中のsample2020j.texとrsj2020j.styをお使いください。なお、TeXでは、sample2020j.pdfの書式とは異なる場合がございます。ご了承ください。

(4) その他の場合

sample2020j.pdfの書式に合うように講演論文原稿を作成してください。

作成したファイル(dviファイル、Wordファイル等)からPDFファイルを作成してください。このときの画質、セキュリティ、余白等について注意してください。詳細は、ウェブサイト[2]をご参照ください。また、作成されたPDFファイルをAdobe Acrobat Reader (旧 Adobe Reader) で開いてご確認ください。確認事項については、ウェブサイト[2]をご参照ください。

2. 講演論文原稿書式について

2.1 原稿枚数について

講演論文原稿は1ページ以上4ページ以内です。ファイルの容量は3Mバイト（動画を含む場合は、動画を含めて4Mバイト）までです。規定ページを越えるものは掲載いたしません。また、容量制限をこえるものは投稿できません。

2.2 和文原稿の場合

2.2.1 原稿の体裁

A4版白紙に縦250mm、横170mmの枠内に収まるようにお願いします。主要活字は10ポイント以上をご使用ください。提出された講演論文原稿は、そのまま予稿集に掲載いたします。原稿の書き方が不適當にならないようご注意ください。詳細については、ウェブサイト[2]をご参照ください。

2.2.2 図と表について

図・表は、印刷しても問題ない程度の解像度を持ち、かつアップロードの際のファイルサイズ上限を

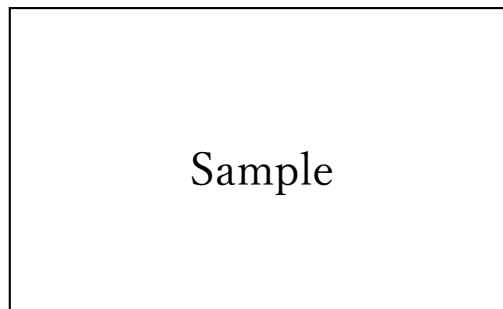


図1 サンプル画像

越えない大きさとなるようご注意ください。

2.2.3 参考文献

文献の引用は本文中に[1]のように書き、参考文献を本文の最後にまとめて書いてください。書式は、日本ロボット学会誌に準拠させてください。

2.3 注意点

2011年より、和文原稿には、英文題目、英文著者名を掲載しないことになりました。図中のキャプションや図名も和文と致します。また、和文、英文原稿ともアブストラクトおよびキーワードの掲載を求めないことにいたしました。

2.4 英文原稿の場合

英文原稿の執筆要綱は和文原稿のそれに準じます。英文による題目、著者名をご記入下さい。和文による題目、著者名等は不要です。

3. 講演申し込みおよび電子入稿

2019年より講演申し込みと電子入稿の締め切りが異なり、2段階での手続きとなりました。講演申込締切までに、講演題目・著者名・講演概要などを登録し、講演の申し込みをしてください。その後、論文投稿〆切日までに、講演論文原稿ファイル(PDF形式)をアップロードして頂きます。詳細については、ウェブサイトをご参照ください。

4. レター同時投稿について

日本ロボット学会誌編集委員会では、令和元年末に論文投稿規定の見直しを行いました。この見直しに伴い、本講演会からレター同時投稿を受け付けることとなりました。具体的には、日本ロボット学会学術講演会に投稿した講演論文を、「そのまま」の内容でレター（速報性を有する研究報告、最大4ページ）に投稿することが可能となりましたので、これを同時に受け付けます。（ただし、フォーマットは異なります。）レター原稿の作成と投稿に関する詳細については、RSJのウェブサイトにあるPDF[3]をご覧頂ければと思いますが、講演会の論文

投稿と同時に、ロボット学会 HP に掲載の論文投稿システムより、同内容をレターフォーマットで投稿して頂ければ、査読プロセス（速報性を重視するため初回査読期間は 15 日以内）を経て **Accept** された論文が、講演会後に順次オンラインに掲載されます。学術講演会等の講演論文を論文誌に投稿する際には「新たな内容の追加や内容の充実が必要である」としていますが、日本ロボット学会が主催する学術講演会については、この規定の対象外としたため、レター同時投稿が可能となりました。この機会を使って、是非、レター投稿をご検討下さい。なお、レターは最大 4 ページですが、4 ページ未満の原稿も受け付けます。レター同時投稿の原稿作成ならびに投稿については、ウェブサイト [2] をご参照ください。

参 考 文 献

- [1] 山田太郎, 鈴木一郎: “第 100 回日本ロボット学会講演会用原稿の書き方”, 日本ロボット学会誌, vol. 99, no. 4, pp. 8-12, 2082.
- [2] “第 38 回日本ロボット学会学術講演会のウェブサイト”, <https://ac.rsj-web.org/2020/>
- [3] “日本ロボット学会誌・寄稿および査読に関する規則集”, https://www.rsj.or.jp/content/files/data_rules/F-02.pdf